

数学

立命館大学 薬学方式 (2 / 2 実施)

<全体分析>

試験時間	100 分	解答問題数	4 題
------	-------	-------	-----

解答形式

空所補充形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

すべて空所補充形式であり、計算量が全体として多くなっている。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I [1]	指数関数	II	置き換えて2次方程式へ帰着	標準
[2]	数列	B	文章題から漸化式を立てて解く	標準
[3]	データの分析	I	平均・分散・標準偏差、データの比較	標準
II	微分法・積分法	II	3次関数のグラフの容器に水を入れる	やや難
III	空間ベクトル	B	座標空間における球面と平面の交わり	標準
IV [1]	確率	A	箱からカードを引く非復元抽出	やや易
[2]	確率	A	確率の最大	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数学 I A II B の各分野について、まず教科書を中心に偏りなく学習しましょう。次に入試で頻出の問題が数多く出題されているので、標準レベルの入試問題集を繰り返し解くこと、さらに複数の分野が融合している問題もよく出題されるので、過去問などを用いて演習しておくといでしょう。また、計算が非常に多いので、日頃から計算を速くする練習をしておきましょう。